

事業シート(令和4年度決算)

41.消防本部_1

事業名	81100 消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 消防総務課・指令課・救急課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	128,853	128,233	141,495	141,495	139,884	11,651	
特定財源							
国費()							
県費(県移譲事務交付金)	370	590	400	400	975	385	
その他(消防手数料、白川村受託事業収入)	10,900	14,342	11,220	11,220	13,034	△ 1,308	
一般財源	117,583	113,301	129,875	129,875	125,875	12,574	
個票枝番	主な事業内容						
	消防本部の運営	117,933	119,191	128,306	128,306	127,457	8,266
	AED(自動体外式除細動器)の維持管理	10,800	8,936	13,079	13,079	12,322	3,386
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	120	106	110	110	105	△ 1

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		140,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
146,213	139,838	139,838	△ 1,657	
787	792	792	392	
11,522	11,050	11,050	△ 170	
133,904	127,996	127,996	△ 1,879	
査定額	説明			
125,138				
14,590				
110				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 30件、救急出動 3,864件、救助出動 45件(令和3年1月～令和3年12月中) 消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 1件 Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者23名、通報実績1件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 Net119緊急通報システム導入により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 火災出動 22件、救急出動 4,743件、救助出動 42件(令和4年1月～令和4年12月中) 消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 緊急通報の多言語対応を行った。災害対応 5件 Net119(言語聴覚障がい者向け)緊急通報システムの運用(登録者24名、通報実績0件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムによる消防体制の充実に必要な経費を計上 AEDの維持管理に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

41.消防本部_1

81100

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81110 消防署運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	常備消防費							
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		29,257	28,931	29,320	37,700	35,928	6,997
特定財源	国費 (緊急消防援助隊活動費)		726				△ 726
	県費 ()						
	その他 (白川村受託事業収入、消防施設等使用料)	1,929	1,764	1,939	1,939	1,831	67
一般財源		27,328	26,441	27,381	35,761	34,097	7,656
個票枝番	主な事業内容						
	消防署の維持管理	29,257	28,931	29,320	37,700	35,928	6,997

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		28,350
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
47,965	43,330	43,330	14,010	
2,278	2,319	2,319	380	
45,687	41,011	41,011	13,630	
査定額	説明			
43,330				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(ボイラー修繕(高山)、非常用発電機修繕(高山)、仮眠室空調設備修繕(高山)、ホースタワー修繕(荘川)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。(高圧幹線修繕(高山)、給湯修繕(高山・上宝)、会議室空調設備修繕(高山)、仮眠室空調設備修繕(高山)、訓練塔修繕(高山)、消防設備修繕(大野)、上水道漏水修繕(清見)等)
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強く～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	常備消防費						
担当課	消防本部 予防課	内線	2118								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		816	815	1,005	1,005	923	108
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	816	815	1,005	1,005	923	108
	その他()						
一般財源			0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	火災予防対策	816	815	1,005	1,005	923	108

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,111	1,106	1,106	101	
1,111	1,106	1,106	101	
	0	0		
査定額	説明			
1,106				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値892件、実施854件 非特定防火対象物の重大違反13件中6件是正) ・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講86名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講20名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画を作成し実施した。(火災予防運動:事業所の協力による火災予防啓発活動2回、女性消防団員と協力し火災予防街頭啓発1回、対象物合同訓練10件、文化財防火デー訓練2件 危険物安全週間:立入検査186件) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:94.5%、個別訪問指導(電話指導含む):584件) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修(職場体験学習)を実施した。(定員30名、参加者21名) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により実施を制限したため、目標値を下回っている。違反是正は6件は正したが、引き続き7件の指導が必要である。 ・防火管理講習は引き続き感染状況を確認しながら、定員数の拡大が必要である。 ・行事は感染症拡大防止を考慮した内容に変更し、火災予防意識の普及を図ることができた。 ・住宅用火災警報器の設置は、特に維持管理の重要性について積極的な啓発を図る必要がある。 ・少年消防クラブリーダー研修は、感染防止に配慮しながら、定員の半数以上の参加者を得ることができた。更なる積極的な啓発を要する。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査、各予防運動及び防火管理講習は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め引き続き充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正を行った。(立入検査:目標値598件、実施631件 非特定防火対象物の重大違反9件中5件是正) ・防火管理講習の企画運営・受講促進を行った。(甲種防火管理新規講習:開催2回、受講93名 甲種防火管理再講習:開催1回、受講16名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画を作成し実施した。(火災予防運動:事業所の協力による火災予防啓発活動2回、女性消防団員と協力し火災予防街頭啓発2回、対象物合同訓練12件、文化財防火デー訓練12件 危険物安全週間:立入検査128件) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等を実施した。(住宅用火災警報器設置率:90.3%、個別訪問指導(電話指導含む):410件) ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修(職場体験学習)を実施した。(定員30名、参加者14名) ・予防技術指導体制(火災調査、防火査察)を確立し、職員の知識技術向上を図った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながらの実施となったが、目標値を上回った。違反是正は5件は正したが、引き続き4件の指導が必要である。 ・防火管理講習は感染症拡大対策をとりながらではあるが定員数の拡大が必要である。 ・行事は感染症拡大防止を考慮した内容に変更し、火災予防意識の普及を図ることができた。 ・住宅用火災警報器の設置は、特に維持管理の重要性について積極的な啓発を図る必要がある。 ・少年消防クラブリーダー研修は、感染防止に配慮しながら、概ね定員の半数程度の参加者を得ることができた。研修の内容の検討を要する。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査及び各予防運動の充実を図る。 ・重大違反対象物に対する違反調査等の適切な運用を図る。 ・複雑多様化する火災原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への設置、維持管理の啓発など更なる防火意識の高揚を図る。 ・予防技術指導を継続し、違反是正の推進、火災調査体制の向上を図る。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・火災原因調査及び立入査察(違反是正)に対する知識・技術の向上に必要な経費を計上 ・火災予防の啓発等に必要な経費を計上 ・少年消防クラブの活動促進を図るために必要な経費を計上 ・防火管理新規講習のオンライン化に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	常備消防費							
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,962	14,836	15,540	16,260	15,656	820
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入)	770	701	850	850	802	101
一般財源		14,192	14,135	14,690	15,410	14,854	719
個票枝番	主な事業内容						
	消防車両・装備等維持管理	14,962	14,836	15,540	16,260	15,656	820

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
18,775	16,600	16,600	1,060			
1,341	1,090	1,090	240			
17,434	15,510	15,510	820			
査定額	説明					
16,600						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動への確実な対応を図った。 岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 緊急消防援助隊岐阜県大隊として、静岡県熱海市土砂災害に2陣計6名を派遣した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両26台と救急車両12台の車検整備及び法定点検を実施し、各種出動に確実に対応できるよう図った。 岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めるとともに、大規模な修繕費の発生を抑制できた。 近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防救急車両及び災害対応資器材を、適正に点検整備し、災害時には確実に運用できるよう維持管理する。 発生が危惧される特殊災害(大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等)に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防車両及び資器材の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画					消防計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	常備消防費							
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,552	10,411	12,920	13,720	13,560	3,149
特定財源	国費()						
	県費(新型コロナウイルス感染症患者移送費)		2,057			6,241	4,184
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	9,428	6,211	6,304	6,304	4,844	△ 1,367
一般財源		1,124	2,143	6,616	7,416	2,475	332
個票枝番	主な事業内容						
	救急救命の推進等	10,222	10,081	12,590	13,390	13,560	3,479
	気管挿管救命士の育成	330	330	330	330	0	△ 330

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
11,480	9,660	9,660	△ 3,260
5,052	4,934	4,934	△ 1,370
6,428	4,726	4,726	△ 1,890
査定額	説明		
9,330			
330			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を3名養成した。 新処置認定救命士を4名養成した。 気管挿管認定救命士を1名養成した。 公募による普通救命講習を4回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を379回開催し、計2,661名が救命講習を受講した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により各種講習会の受付を中止していた期間があった。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。 救命講習を広く市民が受講できるようオンライン講習を含めた開催方法を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 薬剤認定救命士を2名養成した。 新処置認定救命士を2名養成した。 公募による普通救命講習を9回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を272回開催し、計3,690名が救命講習を受講した。 救命講習の動画配信やオンライン講習を導入した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。 動画配信やオンライン講習の導入により、救命講習を広く市民が受講できる体制を整えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と各種認定救命士(薬剤・新処置・気管挿管)及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修)に必要な経費を計上 医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新に必要な経費を計上 新型コロナウイルス感染症対策等に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定 の 考え方	・積算内容を精査
-----------------------	----------

市長査定 の 考え方	・財務部査定のとおり
------------------	------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	消防団費						
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の任務が、迅速かつ確に遂行できる体制づくりに努める。 市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ることで、市民の安全、安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の任免 報酬等の支給 消防団行事等の企画、運営 消防団員への各種表彰の具申等 消防団施設・資器材等の維持管理 消防団員の入団促進、確保対策の取組み(H29～)
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		306,552	255,041	272,587	273,277	228,651	△ 26,390
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(退職報償金、公務災害補償費、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	111,110	138,628	81,100	81,100	69,100	△ 69,528
一般財源		195,442	116,413	191,487	192,177	159,551	43,138
個票枝番	主な事業内容						
	消防団の運営	154,932	149,421	123,767	124,457	118,029	△ 31,392
	消防団入団促進	320	282	320	320	292	10
◎ 1	消防団員年報酬、出勤報酬等	138,000	94,093	139,000	139,000	103,601	9,508
	消防団員活動服、安全靴の更新	12,500	11,092	8,700	8,700	6,380	△ 4,712
	消防団員の自動車運転免許取得への助成	800	153	800	800	349	196
	消防団員の耐切創性手袋、防寒衣の整備						

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		298,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
301,203	294,363	294,363	21,776				
63,167	58,800	91,800	10,700				
238,036	235,563	202,563	11,076				
査定額	説明						
155,013							
250							
130,000							
800							
8,300							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 消防団員の出勤報酬及び特別報酬の上限を国の標準額に拡充し、処遇改善を図った。 フォトコンテストを実施した。(応募37点、入選6点) 消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 消防団員の負担軽減を目的とした消防操法大会のあり方の検討を推進した。 消防団員の活動服544着、安全靴450足を更新した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市消防操法大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止(2年連続)。 各支団において、規模を縮小した訓練など、時間や場所及び内容を工夫して行い有事に備えた。 消防団員自動車運転免許取得費補助金は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響もあり、準中型免許取得1名のみ活用であった。 新基準に適合した活動服や安全靴により、活動中の視認性及び安全性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善について継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 消防団員活動服及び安全靴の更新を推進する。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全安心の確保に努めた。 フォトコンテスト優秀作品で団員募集ポスターを作成し、広報活動を展開した。 消防団員の自動車運転免許(準中型)取得に係る費用の助成を行った。 消防操法大会のあり方について検討を推進し、親しみある消防団を目指し、消防団員とふれあえる体験型のイベントとして開催方針を定め、消防フェスティバルに改称した。 消防団員の活動服287着、安全靴225足を更新した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市消防操法大会を3年ぶりに開催した。(R2、R3中止) 感染防止対策を講じながら、規模を縮小するなど、時間や場所、内容を工夫して訓練を実施した。 消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得3名、AT限定解除1名が活用した。 新基準に適合した活動服や安全靴の更新整備が完了し、活動中の視認性及び安全性が向上した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善について継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 「消防フェスティバル」に改称し、市民に消防団活動や重要性、地域での役割などを伝え理解の向上を図る。 消防団員被服、装備品の整備を推進する。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理に必要な経費を計上 消防団員の入団促進策、確保対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部 消防総務課
枝番・内容	1 消防団員の処遇改善(出勤手当の見直し)		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	8	消防費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線	2119	
		<input type="checkbox"/>		目		1	常備消防費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・出勤手当等を拡充し、消防団員の処遇改善を図る。	概要	・消防団員の処遇改善
----	--------------------------	----	------------

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	138,000
	繰越	
	補正等	
	最終	138,000
決算額		94,093
対前年度増減額(決算)		△ 2,597

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	139,000
主な経費	・消防団員に係る出勤報酬	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	139,000
	繰越	
	補正等	
	最終	139,000
決算額		103,601
対前年度増減額(決算)		9,508

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	130,000
主な経費	・消防団員に係る出勤報酬	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年報酬を支給した。 ・出勤手当及び特別報酬を支給した。 ・国が示す報酬等の基準に合わせ出勤手当を拡充した。 ・報酬を「年額報酬」、「出勤報酬」、「特別報酬」に改正した。 ・報酬は全て団員個人に直接支給するよう改正した。 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が示す報酬等の基準に合わせ、出勤報酬を拡充し、団員の処遇改善を図るとともに、報酬をすべて団員個人に支給することで、団員の士気向上につながる事が期待できる。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年額報酬の支給 ・出勤報酬及び特別報酬の支給 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月 年額報酬支給(年2回) ・4月～3月 出勤報酬支給(年4回 四半期毎) ・特別報酬は、その都度支給 	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年額報酬を支給した。 ・出勤報酬を支給した。 ・報酬は全て団員個人に直接支給した。 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中、特別報酬支給なし(該当災害等なし)。 ・報酬をすべて団員個人に支給することで、団員の士気向上につながる事が期待できる。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年額報酬の支給 ・出勤報酬及び特別報酬の支給 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月 年額報酬支給(年2回) ・4月～3月 出勤報酬支給(年4回 四半期毎) ・特別報酬は、その都度支給 	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81300 消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く!～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	消防施設費							
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		11,750	11,701	4,300	3,999	3,918	△ 7,783
特定財源	国費()						
	県費(県産材需要拡大施設等整備事業補助金)						
	その他(地方債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	5,000	6,300	1,700	1,700	1,600	△ 4,700
一般財源		6,750	5,401	2,600	2,299	2,318	△ 3,083
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車庫修繕・撤去等	3,400	3,134	0	0	0	△ 3,134
	消防団車庫改築	6,850	7,357	2,300	2,300	2,035	△ 5,322
	消防署等施設の施設修繕	1,500	1,210	1,200	1,200	1,188	△ 22

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
43,716	42,100	42,100	37,800	
3,000				
	33,200	38,200	36,500	
40,716	8,900	3,900	1,300	
査定額	説明			
2,100				
36,200				
3,800	女性用シャワー室設置、地下タンク撤去等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・消防団車庫にトイレ、倉庫の増築工事を行った。(荘川支団黒谷班) ・消防団車庫2ヶ所の解体を行った。(清見支団旧櫛谷班、荘川支団旧新洲班) ・女性職員の職場環境の改善を目的として、高山消防署に女性用シャワー室の増設工事を行った。
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、用途廃止した消防団施設の解体により財産の整理を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・消防団車庫のトイレ水洗化工事を行った。(上宝支団蔵柱班) ・女性職員の職場環境の改善を目的として、大野分署に女性用シャワー室の増設工事を行った。
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。 ・女性職員の職場環境の改善を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。 ・女性職員の職場環境の改善をさらに推進する。

担当課 予算要求 ポイント	・消防団車庫の更新に必要な経費を計上 ・消防署施設の改修に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81310 消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く!~自然と向き合い暮らす強さ~ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	消防施設費							
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両(署・団)を適正に配置する。 老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。 	概要	消防車両、消防団車両の計画的な更新整備
----	---	----	---------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	16,500	16,468	247,500	247,500	30,542	14,074	
特定財源							
国費 (消防施設等整備事業費 1/2)							
県費 ()							
その他(過疎対策事業債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	9,000	7,200	169,000	169,000	29,300	22,100	
一般財源	7,500	9,268	78,500	78,500	1,242	△ 8,026	
個票枝番	主な事業内容						
	消防団車両更新	11,500	11,974	27,100	27,100	28,246	16,272
	消防団小型動力ポンプ付積載車用資器材更新	5,000	4,494	2,400	2,400	2,296	△ 2,198
◎ 1	消防署車両更新			218,000	218,000	0	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		130,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
174,579	41,000	41,000	△ 206,500	
26,903	12,000	12,000	12,000	
	5,000	25,000	△ 144,000	
147,676	24,000	4,000	△ 74,500	
査定額	説明			
0				
0				
41,000	救急車1台、指令車1台、資機材搬送車1台			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 小型動力ポンプ付き普通積載車1台を更新し、久々野支団(引下・小坊班)に配備した。 小型動力ポンプ付き軽積載車1台を更新し、国府支団(桐谷班)に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いや、班の再編成等の状況に応じ調整を図る。 常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> はしご付き消防自動車1台の更新に伴う契約を締結した。令和5年度中に高山消防署へ配備予定。(繰越明許費) 小型動力ポンプ付き普通積載車1台を更新し、国府支団(八日町班)に配備した。 消防ポンプ自動車1台を更新し、久々野支団(橋場班)に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整を図る。 常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防署車両の更新に必要な経費を計上 消防団車両の更新に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 消防団車両などについて、ベース車両出荷停止により先送り
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	81310 消防車両整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	消防署 警防課
枝番・内容	1 消防車両更新		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	8		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線	2117
		<input type="checkbox"/>		目		3	消防施設費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両(署・団)を適正に配置する。 ・老朽化した車両を更新整備することにより、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・配備から27年経過し老朽化したはしご付消防自動車の更新整備
----	--	----	--------------------------------

[参考] R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	218,000
主な経費	・はしご付消防自動車更新	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	218,000
	繰越	
	補正等	
	最終	218,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費	・はしご付消防自動車更新(繰越明許費)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	老朽化が著しいはしご付消防自動車(30m級)を更新整備する。
[スケジュール]	自動車製造における半導体不足及び前回年次点検が令和3年10月であることを踏まえ、5月臨時議会に諮り、年度中の早急な納入を行う。 ・4月～6月 契約 ・10月～12月 納車

事業実績、評価等	
[事業実績]	令和5年3月 契約(3月議会にて取得議決) 令和5年8月 配備予定 ※繰越明許費による取得となる。
[評価等]	令和4年度予算内示後に車体製造メーカーの燃費不正問題が発覚し、ベース車両が出荷停止となり、その再開を待って入札・契約となったため、事業の進捗が大幅に遅れた。 契約後は順調に製作が進み、納入期限よりも6か月近く早く納車される見込みとなった。 車両の配備が大幅に遅れることになり、現行車両の老朽化に伴うはしご車運用停止期間が生じる事となったが、車体の生産停止が判明した時点から市場の動向に注視し、年度内配備が困難となった時点で速やかに繰越明許に係る手続きを進めたことで、それ以後の生産再開に合わせた入札・契約に係る事務はスムーズに行なうことができた。結果として、はしご車の運用停止期間は最短に止めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input checked="" type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	老朽化が著しいはしご付消防自動車(30m級)を更新整備する。(繰越明許費217,000千円)
[スケジュール]	・R5.6 中間検査 ・R5.8 納車

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く! ~自然と向き合い暮らす強さ~ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	消防施設費							
担当課	高山消防署 指令課	内線	2117									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽を整備する。 損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等)による環境改善と水量維持
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		41,197	39,500	19,390	19,691	19,443	△ 20,057
特定財源	国費 (消防防災施設等整備費1/2)	5,486	5,486				△ 5,486
	県費 ()						
	その他(過疎対策事業債、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	8,000	5,700	7,000	7,000	15,000	9,300
一般財源		27,711	28,314	12,390	12,691	4,443	△ 23,871
個票枝番	主な事業内容						
	耐震性貯水槽更新、防火水槽解体	20,890	20,660	1,500	1,449	1,265	△ 19,395
	自主防災組織小型動力ポンプ等購入	3,487	3,487	0	0		△ 3,487
	水利施設の維持管理等	16,820	15,353	7,890	8,242	8,421	△ 6,932
◎ 1	消火栓の予防的更新			10,000	10,000	9,757	9,757

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		41,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
29,842	21,800	21,800	2,410	
29,842	21,800	21,800	9,410	
査定額	説明			
4,200	防火水槽撤去			
7,600				
10,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽へ2基更新整備を行った。(国府、久々野) 防火水槽の漏水、フェンスの破損を4基修繕した。 防火水槽の清掃を5基行った。(堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 防火水槽のバルブ、躯体保護、フェンスの破損等を6基修繕した。 防火水槽の清掃を3基行った。(堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消火栓の機能保全と適正配置に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防署 指令課
枝番・内容	1 消火栓の予防的修繕		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	8	消防費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線	2117	
		<input type="checkbox"/>		目		3	消防施設費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・経年により老朽化した消火栓の更新を進め、地域防災力の強化を図る。	概要	・開閉困難等がある消火栓に優先順位を付して順次更新する。
----	-----------------------------------	----	------------------------------

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	消火栓の予防的修繕	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	10,000
	繰越	
	補正等	
	最終	10,000
決算額		9,757
対前年度増減額(決算)		9,757

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	消火栓の予防的修繕	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	①開閉困難等がある消火栓(予備軍含む)について、優先順位を付して順次更新する。 ②消火栓の新規設置、統廃合により、国が示す基準に準じた配置とする。
[スケジュール]	・年間を通して計画的に更新する。 ・水道管敷設替え工事や道路工事に合わせて更新する。
次年度以降の考え方(担当課)	

事業実績、評価等	
[事業実績]	開閉困難に至る可能性がある消火栓を、水道工事や道路工事に合わせて計画的に更新する。 更新 11基
[評価等]	消火栓更新に優先順位を付して適正な更新を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	①開閉困難等がある消火栓(予備軍含む)について、優先順位を付して順次更新する。 ②消火栓の新規設置、統廃合により、国が示す基準に準じた配置とする。
[スケジュール]	・年間を通して計画的に更新する。 ・水道管敷設替え工事や道路工事に合わせて更新する。
次年度以降の考え方(担当課)	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 有事に強いまちを確立します	
			款	8	消防費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化			
			項	1	消防費		根拠計画		消防計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	消防施設費							
担当課	消防総務課・警防課・指令課・救急課	内線	2119									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の新規及び更新整備
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	84.7%	82.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,713	16,651	22,300	22,300	22,218	5,567
特定財源	国費(消防資器材整備事業費 1/3)		1,368			975	△ 393
	県費						
	その他(白川村受託事業収入)		500	3,000	3,000	4,000	3,500
一般財源		16,713	14,783	19,300	19,300	17,243	2,460
個票枝番	主な事業内容						
	消防資器材の整備	7,900	9,006	9,200	9,200	12,262	3,256
	消防団装備品	8,813	7,645	8,100	8,100	5,283	△ 2,362
◎ 1	初期消火資器材の新規整備			5,000	5,000	4,673	4,673

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		14,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
27,085	21,900	21,900	△ 400	
3,214	3,100	3,100	100	
23,871	18,800	18,800	△ 500	
査定額	説明			
11,100				
5,800				
5,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣16着を更新整備した。 消防団用にデジタル簡易無線機55機、救命胴衣55着、夜間照明10式を追加整備した。 消防ホース88本(常備60、団33)を更新整備した。 初期消火資器材について格納箱15基、ホース38本を更新整備した。 救命講習用訓練人形3体、AEDトレーナー2台を更新整備した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 消防団員の安全確保や、負担軽減に配慮した資器材や装備品を計画的に整備すると共に、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣23着を更新整備した。 救助訓練用人形3体を更新整備した。 自動体外式除細動器1器、自動式吸引器1台を更新整備した。 消防団用にデジタル簡易無線機55機、救命胴衣50着を追加整備した。 消防ホース82本(常備17、団65)を更新整備した。 初期消火資器材について、格納箱29基及びホース116本を新規整備し、格納箱17基及びホース43本を更新整備した。 救命講習用訓練人形2体、AEDトレーナー1台を更新整備した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 初期消火資器材の更新により、自主防災組織(市民)が行う初期消火活動の安全が確保できた。 講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。 消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備すると共に、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 消防防災体制の充実を図るための消防資器材の計画的な整備に必要な経費を計上 消防団活動に必要な装備品の整備に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	消防署 指令課
枝番・内容	1 初期消火資器材の新規整備		<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	8		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	消防費	内線	2117
			<input type="checkbox"/>		目	3	消防施設費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・火災発生時に地域住民が迅速かつ効果的に初期消火活動を行えるよう、十分な初期消火資器材を配置し、地域防災力の強化を図る。	概要	・高山地域では、消火栓3基に対して初期消火資器材1式を基準としてきたが、被災場所によっては活動に時間や労力がかかっていることから、効果的な活動を行うため消火栓1基に対して1式の配置となるよう整備していく。
----	--	----	--

【参考】R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	5,000
主な経費	初期消火資器材(新規設置20式)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	5,000
	繰越	
	補正等	
	最終	5,000
決算額		4,673
対前年度増減額(決算)		4,673

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	5,000
主な経費	初期消火資器材(新規設置20式)	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・初期消火資器材の新規設置を優先順位を付して整備する。 優先順位 ①消防署から遠隔地 ②大規模火災の危険性がある地域 ③防火地域に該当する地域 ④準防火地域に該当する地域 ⑤その他の地域
[スケジュール]	4月～9月 資器材購入 10月～12月 資器材整備
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	初期消火資器材29式を新規設置
[評価等]	地域の防災力が強化された。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・初期消火資器材の新規設置を優先順位を付して整備する。 優先順位 ①消防署から遠隔地 ②大規模火災の危険性がある地域 ③防火地域に該当する地域 ④準防火地域に該当する地域 ⑤その他の地域
[スケジュール]	4月～9月 資器材購入 10月～12月 資器材整備
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定